

# ヤマモミジ

## 通称名

モミジ

## 分類

カエデ科

## 特徴

オオモミジの変種。鋸歯が荒いタイプはヤマモミジ。一般的には標高10m程だが、拓勇樹林には15mに達するものがあり、めずらしい。

## 分布

北海道と本州の北中部

## 用途

太平洋側に分布するイロハモミジ、オオモミジと共に日本のカエデを代表する樹種であり、新緑や紅葉の美しさを鑑賞するため庭園や盆栽として使われる。葉を天ぷらにして食べることができる。若葉がよいが、紅葉した葉もカラリと上げると彩も鮮やかで形も美しく香ばしい。

答え：×

紅色の絹を「もみ」といい、紅絹摺る（もみずる）が転化したものと言われている。（もみずるとは秋に木野はが赤や黄色になること）また目が覚めるほど鮮やかに赤くなるので「燃ゆる」という説もある。